

2011年度

科目名	尺度構成法				
担当教員	井上 徹				
配当	人社3		コード	24075	
開期	前期	講時	火曜日4限	単位数	2
授業テーマ	心理尺度のつくり方を学ぶ				
目的と概要	尺度項目の作成、予備調査の結果分析を通して、尺度構成の方法と手順を、理解することを目的とします。尺度構成の3つの代表的な方法を、統計パッケージによる統計分析を交えて、経験し理解していきます。まずそれぞれの方法における留意点を解説し、受講生自らが項目を作成し、予備的な調査を行います。予備調査のデータを、統計パッケージを用いていろいろな分析にかけ、各自が作成した尺度項目の信頼性、妥当性を考察します。				
成績評価法	各課題についてのレポート(70%)＋授業中のミニレポート(30%)				
テキスト	特に定めません。授業中にプリントを配布します。				
参考書	心理学実験指導研究会編 実験とテスト＝心理学の基礎(実習編) 培風館 1985				
履修に当たっての注意・助言/準備学習	欠席するとやっていることが分からなくなる。欠席しないように。 統計的处理、特に統計的検定について理解しておくこと。 事前に次回の予告をするので、いろいろな文献で当該の事項について調べておくこと。				
講義計画					
1. 尺度構成についての基本的考え方					
2. 尺度の信頼性と妥当性					
3. サーストン法（1） サーストン法の解説と項目作成					
4. サーストン法（2） 調査実施、コーディング					
5. サーストン法（3） 項目の精選と尺度値の設定					
6. サーストン法（4） 因子分析による因子的妥当性					
7. リッカート法（1） リッカート法の解説と項目の作成					
8. リッカート法（2） 調査実施、コーディング					
9. リッカート法（3） 項目分析1－G P分析					
10. リッカート法（4） 項目分析2－因子分析					
11. ガットマン法（1） ガットマン法の解説と項目作成					
12. ガットマン法（2） 調査実施、コーディング					
13. ガットマン法（3） S P表を用いた結果分析					
14. ガットマン法（4） 尺度項目の内的整合性					
15. 尺度構成法についてのまとめ					